



【おもしろ川柳】

◎絵手紙で いい味出してる 震える手  
◎「鬼は外」そっと女房に 言ってみる  
◎じいちゃんに スマホ教える 孫5歳

令和3年1月1日  
金川コミュニティ協議会  
朝倉市屋永 3266 電話 22-2242

新春のお喜びを申し上げます。校区の皆様には、年頭にあたりこの1年が、どの様な年になるか、思いを巡らされた事でしょう。昨年は、世界中で新型コロナウイルスの災禍に見舞われ、普通の生活が一変し、とても不自由な日常を強いられることになりました。協議会も事業の中止や大幅な変更を余儀なくされ、皆様には大変ご迷惑をお掛け致しました。ようやく昨年末にいたって、幾種かのワクチン製造と使用、抗体治療薬等の明るい情報なども聞かれるようになりました。私達も、まず「自助」に心掛け、校区一体となり「共助」に努めて、この1年を頑張りましょう。皆様のご健康をお祈りいたします。

金川地区コミュニティ協議会 会長 田子森英樹

## 金川地区 ほのぼの配食・会食サービス

金川地区コミュニティ協議会の福祉健康部会では、ほのぼの弁当配食会を実施しております。金川地区にお住いの70歳以上の1人暮らしの方と75歳以上の2人暮らしの方のご家庭に地区の民生委員・区会長さんのご配りしていただきます。弁当づくりやお作りは福祉ボランティアの皆さんが真心を込めて作られています。昨年の配食会はコロナウイルスの感染拡大防止のため3回だけの配食会になりました。



7月の活動紹介  
第2回配食会  
水ようかんやマドレーヌのおやつ作りをしました。二、四人分を準備して、安否確認を兼ねて民生委員さんが自宅を訪問し、手渡しました。

10月20日  
福祉ボランティア金川では会員の皆さんの知識向上と親睦を兼ねて研修会を開催しました。今回はNPO法人博多笑い塾のアソビリテーション健康講演と大江戸ジュリアさんの手品を披露して頂きました。健康講演では、おもしろ、おかしく、講話を拝聴しました。ボケなために薬指を使いましよう。手品では、「ええ」 「なんでも」の声があちらこちらから聞こえてきました。



美味しい「梅ご飯」弁当が出来ました。

11月の活動紹介  
第3回配食会  
久しぶりのお弁当作りでした。地元野菜を使った、たくさんのおかずが入ったお弁当を一六三人分をご用意しました。

福祉ボランティア金川の紹介  
代表 小林美千子 会員26名  
「活動の主旨と目的」  
※高齢者世帯への配食活動（お弁当等づくり）  
※ボランティア活動のために必要な研修等の参加  
※地域行事等に参加する事で地域の活性化に貢献する。



## 「民生委員・児童委員さん」朝のあいさつ運動

◎◎◎  
◎あいさつで みんなの心に花さかそう  
◎あいさつで 和む輪づくり町づくり  
◎あいさつで 広がる元氣 咲く笑顔

あいさつ標語

オ・おはよう  
ア・ありがとう  
シ・失礼します。  
ス・すいません



民生委員会・児童委員・社協会長さん9名は毎月1日に金川小学校登校門3ヶ所（北・西・南）に朝7時半から8時15分頃まで各門に3名に分れて、登校してくる児童に、おはようございます！の声掛け運動をしています。



元気な声でおはようございます。

## 第5回成人学級

11月27日  
第5回の成人学級ではミニコンサートを開催しました。「ピュアハート」のグループ名で活躍されている知的障がいのある6人の音楽バンドです。全8曲90分間元気に楽しく演奏をされました。最後のアンコール曲でソフトバンクホークスの応援歌を演奏して頂き最高に盛り上がりました。



## 【健康の秘訣 楽しく毎日歩きましょう！】



【第24回大谷溪谷】  
11月3日  
今回は大谷溪谷へ行きました。溪流を歩くコースです。谷川を長靴で歩きました。紅葉も少し始まりました。色づいた落ち葉の浮かんだ川面をジャブジャブと元気に歩き、楽しく最後まで皆さんで完歩することができました。



【健康づくり推進員会】  
11月23日  
かながわウォーキング  
毎年、大平山の登山を行っていましたが、今年新型コロナウイルスの感染拡大防止のために金川地区を歩きながら故郷の良さを発見するコースにしました。

## 冬のコロナ対策へのご協力をお願いします！

「マスクの着用」「3密の回避」「手洗い・消毒」などの基本的な感染症対策を徹底しましょう。

## 感染リスクが高まる「5つの場面」



### 場面① 飲食を伴う懇談会等

・敷居などで区切られている狭い空間に、長時間大人数が滞在すると感染リスクが高まる。

### 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

・大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。

### 場面③ マスクなしでの会話

・マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。

### 場面④ 狭い空間での共同生活

・狭い空間での共同生活は長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。

### 場面⑤ 居場所の切り替わり

・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。